



平成24年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社トーン

コード番号 9444 URL <http://www.toshin-group.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 信文

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 江本 健一

TEL 052-262-1122

四半期報告書提出予定日 平成23年12月15日

配当支払開始予定日

平成24年1月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年4月期第2四半期の連結業績(平成23年5月1日～平成23年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年4月期第2四半期	12,162	21.8	272	13.8	233	34.0	133	111.5
23年4月期第2四半期	9,988	1.0	239	△48.3	174	△58.0	63	△68.8

(注) 包括利益 24年4月期第2四半期 123百万円 (161.4%) 23年4月期第2四半期 47百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年4月期第2四半期	210.68	—
23年4月期第2四半期	99.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年4月期第2四半期	15,594	2,616	16.8
23年4月期	15,202	2,556	16.8

(参考) 自己資本 24年4月期第2四半期 2,616百万円 23年4月期 2,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	100.00	—	100.00	200.00
24年4月期	—	100.00	—	—	—
24年4月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年4月期の連結業績予想(平成23年5月1日～平成24年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	20.2	745	56.1	620	59.0	340	100.0	537.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年4月期2Q	638,874 株	23年4月期	638,874 株
② 期末自己株式数	24年4月期2Q	6,163 株	23年4月期	6,163 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年4月期2Q	632,711 株	23年4月期2Q	632,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災後、原発問題、電力供給問題等から、全国的に回復の兆しが見られるものの、円高の進行、世界的な景気停滞への懸念により、わが国の経済環境の先行き不透明感は依然厳しい状況で推移しております。

このような経済状況のもと、移動体通信関連事業における販売基盤の整備・店舗運営の効率化、不動産市況に左右されない安定的な事業の構築、リゾート事業の収益基盤の強化等に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高121億62百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益2億72百万円（前年同期比13.8%増）、経常利益2億33百万円（前年同期比34.0%増）、四半期純利益1億33百万円（前年同期比111.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(移動体通信関連事業)

携帯電話業界におきましては、携帯電話の加入件数が平成23年10月末現在で1億2,371万台に達し、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は1億2,248万台となっており、全体の99.0%を占めております。当第2四半期連結累計期間の携帯電話の純増数は354万台と前年同期比11.1%増となりました（「電気通信事業者協会」より）。このような環境の中、当社グループは、店舗近隣への営業活動による集客力の強化及び店舗移転の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は112億64百万円（前年同期比25.1%増）、セグメント利益は4億26百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(不動産事業)

依然不動産市況の停滞感等、厳しい経営環境は続いております。このような状況下にあつて、当社グループにおきましては、市場の変化を敏感に読み取りながら、安定的な収益を確保すべく、的確に対応をしております。

当第2四半期連結累計期間において、売上高は1億54百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益は71百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

(リゾート事業)

ゴルフ業界は、男子、女子プロ選手の世界レベルがメディアでも注目され、ゴルフ人気幅広く波及し、一層ゴルフが親しみやすいスポーツとなり、競技人口は着実に増加しております。

東日本大震災後のプレーに対する自粛ムードは和らぎつつあり、来場者についても回復傾向にあります。このような経営環境の中、ゴルフコースの品質維持・向上に努め、ゴルファーの快適なプレー環境を構築し、集客力の強化を図っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は7億33百万円（前年同期比9.3%減）、セグメント利益は36百万円（前年同期比35.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、155億94百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億92百万円の増加となりました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

負債は、129億78百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億32百万円の増加となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

純資産は、26億16百万円となり、前連結会計年度末と比べて59百万円の増加となり、自己資本比率は16.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、8億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億78百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加による支出5億2百万円、たな卸資産の増加による支出2億96百万円等がありましたが、仕入債務の増加による収入5億1百万円等により、全体では2億2百万円の支出（前年同四半期は1億5百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出62百万円等により、全体では47百万円の支出（前年同四半期は1億70百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額の増加による収入2億60百万円、長期借入れによる収入2億50百万円がありましたが、長期借入金の返済による支出5億48百万

円、配当金の支払額62百万円等により、全体では1億25百万円の支出（前年同四半期は1億36百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢、市場動向を勘案の上、業績予想の見直しを行った結果、平成23年6月10日の決算短信で発表しました平成24年4月期の業績予想（通期・個別）を修正しております。詳細については、本日公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社が保有する移動体通信事業店舗の建物等について、従来、耐用年数を5年として減価償却を行なっておりましたが、第1四半期連結会計期間において見直しを行なった結果、従来採用しておりました耐用年数と実績に基づく使用可能予測期間との乖離が明らかになった為、耐用年数を8年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,505千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,909,220	1,514,850
売掛金	2,369,250	2,871,778
商品及び製品	639,162	937,728
原材料及び貯蔵品	18,295	16,612
その他	144,563	118,722
貸倒引当金	△1,784	△757
流動資産合計	5,078,707	5,458,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,274,806	3,303,185
減価償却累計額	△1,056,576	△1,121,173
建物及び構築物(純額)	2,218,230	2,182,011
土地	6,839,351	6,852,750
その他	222,596	299,379
減価償却累計額	△136,328	△144,453
その他(純額)	86,267	154,925
有形固定資産合計	9,143,849	9,189,688
無形固定資産	178,913	168,298
投資その他の資産		
投資その他の資産	788,866	768,755
貸倒引当金	△214	△116
投資その他の資産合計	788,651	768,638
固定資産合計	10,111,414	10,126,624
繰延資産	12,057	9,327
資産合計	15,202,179	15,594,887

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,216,642	2,718,185
短期借入金	2,520,000	2,780,000
1年内返済予定の長期借入金	942,324	869,310
1年内償還予定の社債	44,000	22,000
未払法人税等	87,361	99,835
賞与引当金	46,772	42,410
その他	664,959	531,809
流動負債合計	6,522,060	7,063,549
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	5,129,270	4,903,353
退職給付引当金	9,730	10,040
資産除去債務	40,787	41,296
その他	243,622	260,061
固定負債合計	6,123,410	5,914,751
負債合計	12,645,470	12,978,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,858	693,858
資本剰余金	832,376	832,376
利益剰余金	1,031,207	1,101,233
自己株式	△43,998	△43,998
株主資本合計	2,513,443	2,583,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,264	33,117
その他の包括利益累計額合計	43,264	33,117
純資産合計	2,556,708	2,616,586
負債純資産合計	15,202,179	15,594,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
売上高	9,988,125	12,162,139
売上原価	8,067,977	10,293,711
売上総利益	1,920,148	1,868,428
販売費及び一般管理費	1,680,706	1,595,940
営業利益	239,441	272,488
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,039	1,147
店舗開発支援金収入	—	15,275
貸倒引当金戻入額	—	1,125
広告支援金収入	11,006	—
その他	29,311	30,257
営業外収益合計	41,357	47,806
営業外費用		
支払利息	92,547	80,555
その他	14,094	6,407
営業外費用合計	106,641	86,963
経常利益	174,157	233,330
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,423	—
賞与引当金戻入額	16,809	—
特別利益合計	18,233	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,981	—
特別損失合計	35,981	—
税金等調整前四半期純利益	156,409	233,330
法人税、住民税及び事業税	15,061	90,663
法人税等調整額	78,321	9,371
法人税等合計	93,383	100,034
少数株主損益調整前四半期純利益	63,025	133,296
四半期純利益	63,025	133,296

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63,025	133,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,910	△10,147
その他の包括利益合計	△15,910	△10,147
四半期包括利益	47,115	123,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,115	123,148
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,409	233,330
減価償却費	85,955	77,003
のれん償却額	10,650	10,462
繰延資産償却額	2,628	2,729
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,423	△1,125
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,448	310
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,625	△4,362
受取利息及び受取配当金	△1,039	△1,147
支払利息	92,547	80,555
デリバティブ評価損益 (△は益)	939	△4,345
為替差損益 (△は益)	10,444	3,526
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,981	—
売上債権の増減額 (△は増加)	50,178	△502,528
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△213,936	△296,883
その他の資産の増減額 (△は増加)	22,764	20,653
仕入債務の増減額 (△は減少)	107,387	501,543
未払金の増減額 (△は減少)	△56,087	△87,668
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,530	△13,546
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△50,397	△73,996
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	773	1,933
その他	28	303
小計	233,097	△53,250
利息及び配当金の受取額	1,034	1,147
利息の支払額	△80,121	△84,098
法人税等の支払額	△48,058	△65,826
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,952	△202,027
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△114,318	16,225
有形固定資産の取得による支出	△56,448	△62,564
資産除去債務の履行による支出	—	△1,184
敷金及び保証金の差入による支出	△4,249	—
敷金及び保証金の回収による収入	4,640	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,376	△47,522

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	65,010	260,000
長期借入れによる収入	300,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△318,440	△548,931
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	△22,000	△22,000
リース債務の返済による支出	△626	△1,529
配当金の支払額	△87,786	△62,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	136,156	△125,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,444	△3,526
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	61,287	△378,144
現金及び現金同等物の期首残高	1,034,751	1,180,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,096,039	802,141

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成22年5月1日至平成22年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,005,980	163,489	800,721	9,970,191	17,933	9,988,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,800	7,682	9,482	—	9,482
計	9,005,980	165,289	808,404	9,979,674	17,933	9,997,608
セグメント利益	427,478	74,237	26,609	528,325	2,257	530,582

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売、飲食店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	528,325
「その他」の区分の利益	2,257
セグメント間取引消去	△9,482
全社費用(注)	△346,942
四半期連結損益計算書の経常利益	174,157

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,264,402	154,184	728,105	12,146,691	15,447	12,162,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	5,238	5,238	—	5,238
計	11,264,402	154,184	733,343	12,151,930	15,447	12,167,377
セグメント利益	426,424	71,396	36,021	533,842	1,641	535,484

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オリジナルグッズ用品の販売、飲料水の販売等を含んでおります。

2. 会計方針の変更等に記載のとおり、移動体通信事業店舗の建物等について、耐用年数の変更をしております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の移動体通信関連事業におけるセグメント利益は3,505千円増加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	533,842
「その他」の区分の利益	1,641
セグメント間取引消去	△5,238
全社費用(注)	△296,915
四半期連結損益計算書の経常利益	233,330

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。